

住宅基礎の品質向上へ

基礎鉄筋工業会が初総会

有限責任中間法人日本住宅基礎鉄筋工業会を開催した。同工業会が異なるため、基準を統一し品質のさらなる向上を図る。最終的には標準が要求されているなか、日、東京のホテルグランソル接鉄筋の品質向上を目的に設立。今年度から基礎鉄筋に関する統一規格や製造管理技術のラ

イセンス制、標準施工要領、設計積算基準、品質維持管理の統一規格などを現実させたいとしている。安心

統一基準作成は、今年度は①技術委員会
技術委員会、部材委員会でRC基準／評定内容確
員会、総務委員会を認の勉強会②部材委員会
中心に行う。現在、で基礎鉄筋・住宅基礎・
業界各社が扱う鉄筋施工標準要領書作成の活
は、製品規格や施工動③総務委員会で積算の
方法、積算基準など統一基準取り決めに向け
た会員各社の現状把握
—を実施する。
総会の冒頭、山口龍二
理事長(タツミ社長)は、
「住宅の耐震性(向上)
構造躯体だけでなく住宅
基礎の強度にも、住宅メ
ーカーはもとより一般の
ビルダーや工務店で、関
心が高まっている。安心
・安全な住宅基礎を提供
するため、技術や品質レ
ベル向上を目指し、活動
を活発化させたい」とあ
いさつ、本格的な活動開
始に向け意気込みを示し
た。



統一基準目指し活動